

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 神奈川県立有馬高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 243-0424

神奈川県海老名市杜家240

E-mail : _____

Website : http://www.arima-h.pen-kanagawa.ed.jp

児童生徒数：男子 354 名 女子 431 名 合計 785 名

児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

地球規模の問題に対する国連システムの理解

持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ())

そのほか ()

4. 活動概要

1 年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1 海外修学旅行

10 月に2年生がグアムへの修学旅行を実施した。海外修学旅行の目的として平和学習、異文化体験などを設定した。事前学習では戦争体験者の講話を聞き、現地で戦跡を訪問し、平和の大切さについての理解を深めた。

2 新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業

9 月に環境教育 NGO を招き「地理」の授業で太陽光エネルギー、神奈川県のエネルギー事情等について実際にソーラーカーへの乗車体験なども含めて体験学習を行い、持続可能なエネルギー利用について学んだ。

3 世界寺子屋運動のリーフレット作りと生徒会による書き損じはがき募集キャンペーンの実施

「地理」の授業の一環として途上国への教育支援を目的にした世界寺子屋運動への参加を呼びかけるリーフレット作りを行った。完成したリーフレットを活用して全校に生徒会から書き損じはがきを募集し、集まった書き損じはがきを地域のユネスコ協会に寄付した。

4 「ユネスコスクール全国大会」への参加

10 月に東京で開催された第 3 回大会に 2 名の職員が参加し、ESD 活動に関する理解を深めた。また、併行して実施された「Rice Project」のセミナーへも職員が参加した。

5 外国語コース特別授業

2 月に1年生の外国語コース生徒を対象にかながわ開発教育センターから講師を招いてフェアトレード、南北問題に関するワークショップ形式の授業を行った。

6 在県外国籍生徒の教育に関するシンポジウムの開催

1 月に在県外国籍生徒の教育について早稲田大学の日本語教育に携わる先生を招いて外国籍生徒の指導法などを中心に校外の参加者も含めて、学習会を行った。

7 米国姉妹校訪問

3 月、米国にある姉妹校を 16 名が訪れ、ホームステイをしながら授業参加、施設訪問などを行い、異文化体験、交流活動を行う。今回は両校の生徒の間でウェブ上の交流を行うシステムを構築して事前交流を始めている。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
生徒参加型学習、ワークショップ形式の授業に対する教員の理解・関心を高めるため、教員研修の中にそうした手法を学ぶセッションを組み入れた。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
現在、検討中。

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)
 - ・ 米国姉妹校のクラウンポイント高校との交流
 - ・ 韓国ユネスコ国内委員会のユネスコスクール部門との情報交換

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)
特になし